

記入例

提出時に記入例は削除してください。

(様式1)

助成申請書

(令和5年度 地域の子どもの福祉のための助成)

必ずご記入ください。

記入日 2023年 10月 1日

■申請団体

(ふりがな) 団体名	とくていひえいりかつどうほうじん 特定非営利活動法人 ○○○○
代表者名	役職名 理事長 氏名(ふりがな) ○○○○ ○○○
所在地	〒○○○ - ○○○○ 神戸市○区○○通3-1-32 TEL: (△△△) ●●●-○○○○ FAX: 同上 E-mail: tiiki@with-kobe.or.jp URL: http://www.with-kobe.or.jp
連絡責任者名	職員 氏名(ふりがな) ●●●● ●●●
連絡責任者 連絡先	TEL: (△△△) ●●●-○○○○ 携帯: △△△-○○○○-●●●● FAX: 同左 E-mail(PC): tiiki@with-kobe.or.jp 〒 - 上記所在地と同じ

本助成に関する問い合わせに対応いただける方の情報をご記入ください。

本会からのメールを確認できるアドレスをご記入ください。

■助成申請区分 (令和5年度 地域の子どもの福祉のための助成 募集要項 5)

申請区分	申請をする区分に <input checked="" type="checkbox"/> をしてください。 <input type="checkbox"/> (1) 社会的養護施設等 <input type="checkbox"/> (2) ひとり親家庭等困窮家庭支援や里親支援、ヤングケアラー支援を行う団体 <input type="checkbox"/> (3) 社会的養護施設等の連盟や協会 <input checked="" type="checkbox"/> (4) 上記以外で「子どもの貧困や虐待防止」の活動を行う団体
申請額	30万円 (千円以下切り捨て)

■助成を受けようとする事業内容

事業名	誰のための何の事業か分かるよう簡潔に記入 さまざまな課題を抱えた子どものための居場所づくり
事業の目的	事業を通じ実現を目指すことを記入 家庭環境や経済的な貧困等の課題から社会的に孤立をしてしまう子どもたちが増加している。そのような子どもたちが安心して通える家庭でも学校でもない第3の居場所となる居場所づくりを行い、課題解決の一助を担う。
事業で支援する対象者と人数	支援の対象者を記入 家庭環境や貧困等の課題を抱えた子どもたち 年齢層: 10代~20代を想定 例) 虐待・ヤングケアラー、ひとり親家庭など

誰のためのものであり(子どもたち)どのような効果が期待されるか、ご記入ください。

	<p>支援する対象者の見込み人数を記入 平均 2～5 名/回の利用者を想定 区役所や学校等にチラシ等を用いて周知をしている。支援機関から案内される場合が多い。初回利用は、登録なし。2 回目以降、原則登録制。</p>
<p>具体的な事業内容</p>	<p>地域の子どもの福祉のための助成 募集要項 3 助成対象事業のうち 申請をする助成に<input checked="" type="checkbox"/>をしてください。 <input type="checkbox"/> (1) 施設助成 <input checked="" type="checkbox"/> (2) 事業助成</p>
	<p>具体的な事業内容を記入 (活動時期・内容・実施回数等)</p> <p>活動時期：原則、毎週月曜日 17 時～20 時 実施回数：年間 50 回 (R5.4.1～R6.2 末の期間の実施分) 活動場所：〇〇センター (住所：〇〇区〇〇町〇〇1-1-1) 支援体制：常勤 1 名、ボランティア 2 名/1 回につき 活動内容：(1) 相談受付・支援 居場所に通う子どもたちの相談に乗り、寄り添い支援をおこなうことにより、将来について共に考える。場合によっては適切な支援機関に繋ぐことも行う。 <input type="checkbox"/> 別紙参照 別紙のとおり (2) イベントの開催 当事者同士のつながりづくりのきっかけとなるイベントを開催し、支援者が増えるようなイベントを開催する。 (開催月 5/22、7/24、8/21、11/20、2/7) 11 月以降は予定 <input type="checkbox"/> 別紙参照 開催報告 (5/22、7/24、8/21 分) のとおり (3) 学習支援・進路相談 学習支援や進路相談を行うことで、将来の進学・就職支援を行う。開催日は、上記 (1) に同じ。</p> <p>活動で感じる課題： 居場所参加者の中には、経済的に不安定な家庭の子どもが多く、居場所に参加したくてもできない場合もある。そのような子どもたちの家庭訪問や食事を届けたり、という居場所の外での支援の必要性を感じている。</p> <p>助成金を活用し、必要な支給物資 (別紙購入一覧参照) を購入したり、地域住民に向け、子どもの見守りの必要性を伝える機会や居場所に通う子どもたちと居場所卒業生が交流できる機会を作るなど、支援者を増やしながら支援の充実を図り、子どもたちが将来安心して自立した生活ができるように取り組んでいきたい。</p> <p>法人活動紹介は、<input type="checkbox"/> 別紙参照 法人パンフレットのとおり</p>

開催日等が分かる資料があれば添付ください。

本助成事業の目的である子どもの貧困や虐待の防止活動を促進することにつながる事業内容をご記入ください。

申請事業期間	<p>申請する事業期間に☑をしてください</p> <p><input type="checkbox"/> ①令和5年度に実施した事業に充てる（購入済の物品等）</p> <p><input type="checkbox"/> ②令和6年2月末までに実施する事業に充てる</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ①すでに実施した事業（令和5年度）と②今後の事業（令和6年2月末）の双方に充てる</p>
--------	---